

鶏肉中心と小売業界が予想



クリスマスのチキンのイメージ

ブロイラー種も心配なしか 不況下の中、増産目指す

2015年のクリスマス商戦の準備に入った国内小売業界と食肉業界は、この夏のクリスマス商戦で、テールに並ぶ輸入品が減少すると予想する一方、七面鳥や大型種のブロイラーの買い控えは起きないと受け止めている。

安価なブランドに注目

安価なブランドに注目が集まると見られており、これらのブランドとの競争が激化すると業界は受け止めている。その意味で、小売チェーンのフライベイト・ブランド(PB)は、今年もクリスマス商戦で注目を集められる存在になると受け止められている。

ダフイテイが上半期に成長 前年同期比で41%増に

オンラインで服飾販売を展開するグローバル・ファッション・グループ(Dafitei)が、2015年上半期に前年同期比41%増となる3億6800万

レクラメ・アキがモーバ買収 事業拡大の足がかりに

クレーム掲載サイトなどを運営するレクラメ・アキが、スタートアップ企業でキャッシュバック事業を展開するモーバ(MOBA)の経営権を買収した。モーバは、アリ・エクスプレスやエストラ・ポント・コム、ダフイテイ、ザツ

ブラジルのビジネス

12月15日にWTOの経過措置の適用が終了するのを前に、ブラジルとその他の関係国が2016年12月11日までに同国を市場経済体制と認めるよう要求している。この経過措置では、加盟国(ASEAN)に加盟した際、開発中工業国(MDIIC)の貿易局が定める自由貿易協定の基準に照らしても、中国の経済体制は合致していないと主張している。

9月の車両生産が絶不調 08年以降の12月で最低

国内自動車メーカー各社の9月の生産台数が、9月としては17万4200台にとどまり、08年以降の12月で最低の9万1300台を記録した。2008年12月以降で最悪で、9月としては2003年以降で最低の9万1300台を記録した。2003年以降で最悪で、9月としては2003年以降で最低の9万1300台を記録した。

ABC工場を1直のみ操業へ 余剰人材にレイオフ適用

自動車販売台数が大きく落ち込んでおり、この工場では2014年11月まで3直体制で生産してきた。今回の判断に伴い、余剰人員にはレイオフを適用する。ただし同社は、具体的な人数については明らかにしていない。一方、地元労組はレイオフの対象が1600人としている。この人員に加え、数日に復帰予定だったレイオフ対象者の760人に関しても、さらにこの措置を3カ月延長する。この結果、レイオフが適用されている同社従業員は2400人に達している。また7月初旬にはおよそ500人の人員削減も実施済みだ。

北東部諸州で増税導入 15年の歳入減のカバーへ

短期的に歳入が厳しい状況に置かれていること、北東部の州政府が2015年の歳入の落ち込みを補い、2016年の財政を強化するため、増税を導入する。北東部諸州の歳入は、2015年の歳入の落ち込みを補い、2016年の財政を強化するため、増税を導入する。

農業機械販売が32%下落 国内自動車製造会社協会(Anfavea)が32%下落?

1997年以降の農業機械販売の不振を受けて、年間の販売台数の見通しも下方修正した。ルイス・モアン会長によると、上半期に前年比20%減と想定していた2015年の販売台数を、今回、32%減の4万6600台に引き下げた。輸出台数に関しても26.2%減の1万1000台を見込んでおり、生産台数は29.8%減の8万2300台と予想している。



CNIIのカルロス・エドゥアルド・アビジョアディ理事

CNIIが中国の圧力に反論 市場経済国とは認めず

中国政府がブラジル政府に対して同国を市場経済国と認めるよう要求し、業界団体を動員してこれに反論している。CNIIは、各業界団体を動員してこれに反論している。

GPVが新人事を発表 VVにエスターマン新社長

ポント・デ・アスカ(VV)は、ヴィア・ヴァレリョ(VV)の社長に就任した。この任命は、VVの経営戦略の転換を示している。

9月の輸出が前年比1.1%増 当初は前年比1.1%増と見ていた

当初は前年比1.1%増と見ていた輸出台数は、9月までの時点で前年同期比1.2%増と推定されている。これは、9月の輸出が前年比1.1%増と推定されている。

税に動き出している 北東部9州のうち7州で既に、商品サービス流通税(ICMS)や車両税(IPVA)、相続・贈与税(ITCD)と

北東部9州のうち7州で既に、商品サービス流通税(ICMS)や車両税(IPVA)、相続・贈与税(ITCD)と

B-side

経済ニュース速報 & データベース

- コピー&ペーストで報告書が作成可能な最新のビジネスニュースをいち早く入手したい
- データベース化された情報を利用したい
- 求めるニュースや話題を伝えてインタラクティブに情報入手・交換したい

効率的に連携させて 効果的な利用が可能です

そんな「したい」を、B-Side Solutionsがお手伝いいたします。

お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。

Rua Apeninos, 665 1º and. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680 <http://b-side.brasilforum.com/> b-side@brasilforum.com

B-side からのお知らせ

龍谷大学同窓会南米支部が発足

龍谷大学経済学部1期生(昭和40年卒)でパラグアイ在住の島崎允也(しまざき・ゆ)氏が発起人となり、さる6月10日、サンパウロ市内で、パラグアイとブラジルの龍谷大学OBにより龍谷大学同窓会南米支部が発会しました。

南米支部は当面、社会学部2期生(平成5年卒)の美代賢志(みや・けんじ)氏が世話人となり、調査・翻訳会社「B-side」の事務所を連絡先とします。OBリストへの登録を希望する方は kenji_miyohotmail.com までメールにて連絡ください。

ニッケイ俳壇

(860)

星野 瞳 選

アリヤナ

新津 稚嶋

横書の文親しめず秋灯下
キリストは乃木さんに似て受難劇
露寒き敷き履かせて土民樓む
天の川潤み密柑の花匂ふ
紙魚の書に木乃伊となりてみ井守
故国の秋照らし来しこの春の月

セードスクリスタス

桶口玄海児

ブラジルは明るく国よ春月夜
蝶の来る畑を大事にして農夫
家で食べる大根蒔いて満足す
ブーゲンベイヤ蝶迷うほど花多し
アラボンガ森の夜明を知らず声

北海道・旭川市

両瀬 辰江

やらねばと思へず出来ぬ酷残暑
秋あかね集団で来て去っていく
海山の荒れるにまかす二十日
散歩道木の葉の落ちる音のし
籠燈の葉湯をいし母恋いし

愛知県・弥富市

森 寿子

再会の日はあるまじく秋は行く
童胆に託してさらば終の家
虫時雨きくもわびしや旅の月
虹消えてたそがれ鳴鳴くばかり
人騙し次にだまされ四月ばか

私の孫は何千人に一人と云われる追行性
ジストロフィーで痛くも悲しい病気で
九才で歩けなくなり、六年間車椅子生活で
す。骨盤が曲がり全体の筋肉がちぢんでし
ます。こんな体でも学校へ行くのが楽しく
まい、やっこの思いで車椅子に座って居り
ます。毎日がんばって居ります。私の主人は
森淳介さんではなく森健介です。サンジョ
ゼドスピニニヤイスです。私はブラジルに
帰らなくてはなりません、孫は長旅が出

ニッケイ歌壇

(498)

上妻博彦 選

サンパウロ

梅崎 嘉明

電柱を登きてサンジウオンの蔓は伸び天に向いて
紅花をさきく
ああ今日も平凡にして一日過ぐ昨日と同じ食事を
並べ
先妻を亡くし再婚の妻も逝き吾に永かり昭和のみ
代は
落ちこぼれ短歌など詠みて詮(せん)もなし妻は
あの世で笑っておらむ
実際の私の日々は何なのか優柔不断の枯落葉なる
「評」すでに平寿を越し、明晰、完全するこ
ころなし。

サンパウロ

武地 志津

秋場所の初日二日と連敗の白鵬休場となる大波乱

来ませんので、もうあきらめました。と便
りがありました。作者はアイ生れの二世
です。

カンボジドルドン

鈴木 静林

晩冬や空家と見まごう釣りの宿
カレンターに赤丸付けて春を待つ
春近し春の温気を孕む山
故里に春になりました手紙書く
故里の山は紅葉が夢見たし

サンジョゼドスカンポス

大月 春水

独立祭に集ひし子等は皆帰る
春雷のひびく丘の二三軒
春泥をつけて遠出の由もなし
胡蝶蘭咲き狭き庭を彩りぬ
苺祭うどんの味も殊に佳し

ソコカバ

前田 昌弘

犬ふぐり大を入れない遊歩道
吾の春意狼の春意と漂える
水温むらば早はや川に入る
水の事故ふゆるは哀し水温む
蒲公英の勢い芝の芽を凌ぎ

ソコカバ

住谷ひさお

チブアナの花屑ひひ寄るベンチ
チブアナの小鳥の囀りある朝
雨の間の春の日差しがありがたし
病葉を踏み歩もつ朝散歩
蟻絶えてチブアナ落花積りをり

サンパウロ

湯田南山西

三回忌告げる電話や春時雨
遠来の友下戸なれば草の餅
見るからに食欲そそる竹荪荷
書架飾る句集その他や春時雨
力んでは鳴らぬ角笛春時雨

サンパウロ

寺田 雪恵

春が来て生まれしばかりのかたつむり
先づ音生待れしバルーン春の日曜日
咲くを待つ集め梅は伸び放題
さみどりを集め梅は伸び放題
青梅を買いあら塩になじませり

アルバレスマシヤード

立沢 節子

双子孫の出場見守る運動会
椅子取りに座りこぼして運動会
宝さがしの宝当りし運動会
参加賞ばかりもらいし運動会

サンパウロ

丸岡すみ子

遠藤の太健闘も土俵きわ豊ノ島関の肩透かしに落
つ
見心えのある四ツ相撲満員の客の拍手と歓声が沸
く
稀勢の里脆くも崩るそのたびに満員会場静まり返
る
終盤に足を負傷の照ノ富士決定戦に挑む心意気

「評」来る場所毎に、短歌五首をもつて、日
本の大地志津さん。四首下句、またか小生の
胸を打った。そしてまた抒情、叙景、五首を
すらすらと添えてくれるベテラン。

ハウル

酒井 祥造

さながらに魔神の如き台風の風荒るる日本の山
野々
刻々と洪水の水高みゆく街浸しゆく惨禍テレビに
歴史にもなき大雨を記録する温暖化止まぬ地上の
惨禍
高み来る洪水に浸る家の屋根助け求むる人々叫ぶ
自から招く惨禍か人類の自然破壊が起す天災

「評」心しずめてこの作品を読むと、只の受

弁当をもらって上げて運動会
ライパンの黒目鏡かけ春の街
春の街歩す黒目鏡伊達ならず
野心家の黒目鏡彼春の空
底翳病み黒目鏡の老の春

マナウス

東 比呂

きらきらと大河輝く春時雨
アマゾンにころろ待ちいしイペー咲く
大道路通り村々山笑う
父の日や話し故人の父のこと
蝌蚪育つ生まれし所里として
鴨の喜び絆深めぬ

マナウス

宿利 嵐舟

春時雨さして行くか蛇の目傘
君となら濡れて行きたや春時雨
駆け込めば先客もいて春時雨
幸いの住むてふ彼方山笑う
鴨りに負けじと蛙方山笑う

マナウス

山口 くに

降り注ぐしつとり濡れる春時雨
地に伏して涙に暮れた終戦日
涙涸れ断腸の思いの終戦日
春時雨船追うボットの列乱す
父の日や戦友に託せし終の文
父の日や胡坐の中は温かった
鴨に耐えてイペー咲き初むアペーダ

マナウス

松田 丞志

父の日や亡き父に似て兄無口
父の日に嫁ぎし娘等連れて
子育ての鳥のつばは蝌蚪の水
蝌蚪生まる日に減りゆく沼の水
聞き慣れし鴨なれども知らず

マナウス

橋本美代子

なんだかんだジタバタすれば山笑ふ
さえずる大地の騒がめかぬ内に
父の日にやと許可して酒二合
父の日や我父子でありし日
春時雨買いたての傘さしてみる

マナウス

丸岡すみ子

け売りではない。しのめ自らむ頃から、夕
星(つ)の沈むまで植樹のための荒地を耕
す、眼(まなこ)がどの作にもあらわされてい
る。因みに氏の子、孫大農主である。

サンジョゼドスピニニヤイス

梶田 きよ

割着もピンからキリまで爪楊枝に俳句をえられあ
るは楽しき
割着に添えられありし金言に教えられたことも
ありたり
空が混み合うこんな言葉も現れて平寿の心臓何か
おかし
平寿すぎて早くも三年この調子ならひよとして
百歳まで

サンパウロ

武田 知子

「評」これほどすらすらと定型を保ちなが
ら、接続詞をこなし、意味を通して詠みつづ
ける力はやはり幼少時の京言葉の聴覚感の蓄
積かと察せられる。年なみを重ねるほど甦る
ものらしい。

サンパウロ

水野 昌之

豊かなる大河に映り山笑う
アマゾンの空気は澄みて山笑う
父の日や娘の電話に機嫌よく

マナウス

渋谷 雅

捨て耕地高値で売れて山笑う
明け方の樹海の鴨目が覚める
父の日や父より大ききつ並ぶ
ああ今日は父の日だったと気付く夜

水田の蝌蚪取り遊び遠き日々
春時雨上がれば緑しずく落つ
鴨が鋭く響く樹海中
父の日に母で惚ぶ感謝込め
トカンチンス

マナウス

吉野 君子

春時雨濁流大昔ま
父の忌やミサを祈りて春時雨
雨季なれどアマゾン今年春時雨
お玉杓子たんぼの沼に産卵す
鴨や樹河の森の入植地

サンパウロ

小斉 樟子

貝寄風や終りし旅の離れざる
シヤボン玉一人一人が持つ天寿
物忘な国を愛しみ独立祭
町に生きたし余生春巡る
亀鳴くや吾が老いを見る友の老

サンパウロ

児玉 和代

八方にてんでの鴨譜を奏で
叙情歌に心浸して春の宵
築立鳥初見夢の庭に降り
春昼の遅き昼顔の御新香
春の風ひらひらの服ついで買いぬ

サンパウロ

馬場 照子

面影の笑顔遺して桜散る
桜守りを黄泉へいざなう花吹雪
鴨の井戸端会議雄鳥と黄
国花でふぎのイッパペー黄金彩
ジャボチババ木肌を埋める黒真珠

サンパウロ

西谷 律子

父母逝きて故郷遠く鳥雲に
緑なきヒルの狭間に鳴くサビア
細打つと連れて来られし国に古り
メトロ口に風吹き寄せて春の塵
黄イペー咲けばブラジルらしき街

サンパウロ

西山ひろ子

娘や孫の言葉駆使して旅つづる小さき土産は我が
コレクシオン
冷蔵庫冷凍庫にもドルユーロの化けし土産を扉に
貼りつけ
雪が舞ひミニ貝類のささやける居ながらにして厨
は世界に
南北の太平洋の貝類に日本海のものコレクシオンと
食へ殻をコレクシオンとは貧しかり彩に魅せられ
柳に飾り

サンパウロ

川井 洋子

「評」この作者はよく「て」を用い、初めの
頃は地方訛かとも思ふふしも感じたが、さ
あらず。この人の行動範囲の広さからして
自分で納得し他にも言い聞かせたい幅広
い「助詞」だった。「ドル・ユーロ」「南北
太平洋」そして「日本海」が一首の中に詠み
込まれる「コレクシオン」作品とは。人類が
人類に用いた原爆のマークの中を彷徨した作
者には偶然ではなからう。私はそう思う。

サンパウロ

水野 昌之

来ると云ふ句友待ちをり春の句座
影と陰違ふ意味合ひ学ぶ春
一瞬に目と眼の合ひぬ朝サビア
信じてるふ幸せ胸に春の人
うららかに喃語に答へ母の笑み
神妙に今日はお彼岸法話聞き
種蒔いて日々感動の老の鳥
雨止ぬ小池にふえし蝌蚪の国
氣味悪き茸によきよき雨後の晴

サンパウロ

大塩 佳子

目覚めればサビアの高音朝月夜
晩学の娘長婿にて今日卒業
船も挑むタレット春の午後
船とか身の不都合か春なのに
十五才よく泣き孫の春の宴

サンパウロ

西川あけみ

鼻ピアスへそにもピアス春の服
街中はスマホに夢中寒し
追悼句よかつたと云われ春灯下
春の雨チヤバルに出逢い十字切る
おはようも声高くなり春の風

余生の夢たぐる仲間と春の虹
誕生月一家に三人家のうら
うららかや日光浴ひつづ友を待つ
シクラメン拝むが如し花開く
うららかやおしやべり楽しレイス編

サンパウロ

吉崎 貞子

ひと手間をかけて蓬の餅をつく
あと戻り出来ぬ人生めぐる春
病む友に届けし一碗飯菜かな
春早の花の少なき桃畑
春一番とは云え大樹なき倒し

サンパウロ

栗山みき枝

寒玉子二つ黄味とて娘の土産
ジンジャア咲き咲きさま花色みせられて
冴えかえる社ぐるぐる都まりて
お豆腐や手作りの味又格別
枝光る娘の太極拳九年度

サンパウロ

川井 洋子

春陽射し猫と私の大あくび
来客に春寝の顔を整える

サンパウロ

大塩 祐二

荒き世に学力低下叫ばれて教育のありか大計もな
くに
痛ましき大田君事件想起(おも) われる送迎に翳
るこの国のすえ

サンパウロ

坂上美代菜

掃除婦の仕事探せ昔あり採用ならず今日を生か
ざる
貧乏を好むでないがそれもよし賢沢知らぬは知ら
ぬ幸せ
地球から月の裏側見えぬもの人の裏側時には見え
ぬ幸せ
会えば又弱りしところ話す吾早くこの癖取らねば
添削をいただき気付く欠陥歌今日や明日には成ら
ずも愉し

サンパウロ

原 はる江

「評」その思いを胸に小生も六人の子にひか
されて出聖した。自力で独立。いたって皆健
康。孫十一人、先祖に感謝している。生めよ
ふやせよの世が来れば、純朴な防人(さきも
り)等をも歓迎する。

サンパウロ

新島 新

湖の変り目読み違え大漁せしとう古老の述懐
お袋の味うなら少しでも美味しい物をと愛の心で
老婆の作るポロロは正にポロロナイフ入れ損ねれ
ばポロロ崩れ
婆さんがいよいよ御託並べはテレノペーラの影
響でこれ
夕さればプールに入りて弛緩する一足とびの暑さ
凌ぎに

サンパウロ

太田 英夫

「評」様々な歌詠みに出会う。互いに切磋
琢磨しあっているのだが、なにせ八十歳前後
あるいは平寿の人もありで作品よりは、歌人
との付き合いが好ましく、言う人もある。歌人
が好きでこの人は、やはりそうした歌を
詠む、そして人に愛される。

サンパウロ

小坂 正光

喜々として幼女は父に掌を引かれ踊るが如く歩き
行きたり
幼な児は些細なことも全身に喜び見せて遊びい
るなり
大人とて幼な児のごと新鮮な驚き持てば若き保た
む
年々の季節たがわず街路樹の金鳳花梢にさゆらぎ
初むる
白いつべり九月半ばをおちこちに目覚る如く鮮や
かに咲く

サンパウロ

白髭 ちよ

「評」父親に掌を引かれて行く幼児の動きに
目を向ける作者。何でもなしのことの様で人間
にはこんな瞬間があるのだ。その「たまゆ
ら」の幼児帰りのある、恍惚。
アルトラナ

「評」米寿をつつがなく越し平寿に至り、自
ずから至福の笑みを、人々にも贈ることの出
来る年も此処にて花との再会を吾に与や神のみ
ぞ知る
テレビに見る難民の数の多き事早き停戦だだだ
祈る

サンパウロ

湯山 洋

「評」その思いを胸に小生も六人の子にひか
されて出聖した。自力で独立。いたって皆健
康。孫十一人、先祖に感謝している。生めよ
ふやせよの世が来れば、純朴な防人(さきも
り)等をも歓迎する。

サンパウロ

新島 新

湖の変り目読み違え大漁せしとう古老の述懐
お袋の味うなら少しでも美味しい物をと愛の心で
老婆の作るポロロは正にポロロナイフ入れ損ねれ
ばポロロ崩れ
婆さんがいよいよ御託並べはテレノペーラの影
響でこれ
夕さればプールに入りて弛緩する一足とびの暑さ
凌ぎに

サンパウロ

太田 英夫

「評」様々な歌詠みに出会う。互いに切磋
琢磨しあっているのだが、なにせ八十歳前後
あるいは平寿の人もありで作品よりは、歌人
との付き合いが好ましく、言う人もある。歌人
が好きでこの人は、やはりそうした歌を
詠む、そして人に愛される。

サンパウロ

小坂 正光

喜々として幼女は父に掌を引かれ踊るが如く歩き
行きたり
幼な児は些細なことも全身に喜び見せて遊びい
るなり
大人とて幼な児のごと新鮮な驚き持てば若き保た
む
年々の季節たがわず街路樹の金鳳花梢にさゆらぎ
初むる
白いつべり九月半ばをおちこちに目覚る如く鮮や
かに咲く

サンパウロ

白髭 ちよ

「評」父親に掌を引かれて行く幼児の動きに
目を向ける作者。何でもなしのことの様で人間
にはこんな瞬間があるのだ。その「たまゆ
ら」の幼児帰りのある、恍惚。
アルトラナ

サンパウロ

白髭 ちよ

「評」米寿をつつがなく越し平寿に至り、自
ずから至福の笑みを、人々にも贈ることの出
来る年も此処にて花との再会を吾に与や神のみ
ぞ知る
テレビに見る難民の数の多き事早き停戦だだだ
祈る

サンパウロ

湯山 洋

「評」その思いを胸に小生も六人の子にひか
されて出聖した。自力で独立。いたって皆健
康。孫十一人、先祖に感謝している。生めよ
ふやせよの世が来れば、純朴な防人(さきも
り)等をも歓迎する。

サンパウロ

新島 新

湖の変り目読み違え大漁せしとう古老の述懐
お袋の味うなら少しでも美味しい物をと愛の心で
老婆の作るポロロは正にポロロナイフ入れ損ねれ
ばポロロ崩れ
婆さんがいよいよ御託並べはテレノペーラの影
響でこれ
夕さればプールに入りて弛緩する一足とびの暑さ
凌ぎに

サンパウロ

太田 英夫

「評」様々な歌詠みに出会う。互いに切磋
琢磨しあっているのだが、なにせ八十歳前後
あるいは平寿の人もありで作品よりは、歌人
との付き合いが好ましく、言う人もある。歌人
が好きでこの人は、やはりそうした歌を
詠む、そして人に愛される。

サンパウロ

小坂 正光

喜々として幼女は父に掌を引かれ踊るが如く歩き
行きたり
幼な児は些細なことも全身に喜び見せて遊びい
るなり
大人とて幼な児のごと新鮮な驚き持てば若き保た
む
年々の季節たがわず街路樹の金鳳花梢にさゆらぎ
初むる
白いつべり九月半ばをおちこちに目覚る如く鮮や
かに咲く

「評」父親に掌を引かれて行く幼児の動きに
目を向ける作者。何でもなしのことの様で人間
にはこんな瞬間があるのだ。その「たまゆ
ら」の幼児帰りのある、恍惚。
アルトラナ

サンパウロ

白髭 ちよ

「評」米寿をつつがなく越し平寿に至り、自
ずから至福の笑みを、人々にも贈ることの出
来る年も此処にて花との再会を吾に与や神のみ
ぞ知る
テレビに見る難民の数の多き事早き停戦だだだ
祈る

サンパウロ

湯山 洋

「評」その思いを胸に小生も六人の子にひか
されて出聖した。自力で独立。いたって皆健
康。孫十一人、先祖に感謝している。生めよ
ふやせよの世が来れば、純朴な防人(さきも
り)等をも歓迎する。

サンパウロ

新島 新

湖の変り目読み違え大漁せしとう古老の述懐
お袋の味うなら少しでも美味しい物をと愛の心で
老婆の作るポロロは正にポロロナイフ入れ損ねれ
ばポロロ崩れ
婆さんがいよいよ御託並べはテレノペーラの影
響でこれ
夕さればプールに入りて弛緩する一足とびの暑さ
凌ぎに

サンパウロ

太田 英夫

「評」様々な歌詠みに出会う。互いに切磋
琢磨しあっているのだが、なにせ八十歳前後
あるいは平寿の人もありで作品よりは、歌人
との付き合いが好ましく、言う人もある。歌人
が好きでこの人は、やはりそうした歌を
詠む、そして人に愛される。

サンパウロ

小坂 正光

喜々として幼女は父に掌を引かれ踊るが如く歩き
行きたり
幼な児は些細なことも全身に喜び見せて遊びい
るなり
大人とて幼な児のごと新鮮な驚き持てば若き保た
む
年々の季節たがわず街路樹の金鳳花梢にさゆらぎ
初むる
白いつべり九月半ばをおちこちに目覚る如く鮮や
かに咲く

サンパウロ

不可能を可能にする学生運動

歓迎された教皇の置き土産



パラグアイを訪問したフランシスコ教皇(左)とカルテス大統領(Foto: Presidencia de la Republica del Paraguay)

これはカルテス大統領が就任早々国民に対し「若し我が政府に不満があれば遠慮なく大いに騒いで下さい」と、公言したのに似ている。

元々パラグアイの学校教育の質は低く、生徒の学力レベルも世界で下の部にランクされるが、近來このパラグアイの恥ずべき汚点に目覚めた学生達の政府の無策に対する不満は燃り続けている。



万国でも絶大な人気を誇った教皇(Foto: Presidencia do Paraguai, 12/07/2015)

真な若者達の不満の爆発であって、一般市民が無条件に支援する、決して侮れない現実である事に、筆者は注目すべきである。なぜならば、この度の学生運動は学校教育の欠陥改善を迫るに止まらず、波及的に政府全般に蔓延する腐敗や汚職の根本問題を突くものであつて、政治屋が下手に抑え切れる動静ではないのである。

絵画や工芸作品が300点

文協美術展が開幕、18日まで

ブラジル日本文化福祉協会(呉屋春美会長)主催の「第9回文協総合美術展」が、11日から聖市の文協ビル(Rua Sao Lourenco, 381)で始まっている。10日午後には大講堂で開会式と優秀作品の表彰が行なわれ、400人以上が訪れた。現代画、具象画(美展)、工芸の3区分に約150人から300作品



初日から多くの来場者があつた

この8月中旬に始まった高校生の運動はパラグアイの教育制度の根本的改革を訴えたもので、最初は母校の前の通りで催された「一歩踏み出す」を続けたものだったが、その他の高校が逸早く呼応し、U.N.A.アスンシオン国立総合大学までが積極的に加わる大デモに発展した。

折しも、パラグアイの「ラスプーチン」とも称される政界の曲者でカルテス大統領の政敵である上院議員カレラ・ガラルナ(赤党)の推薦・擁護の許に獣医学部学長から僅か1年前にU.N.A.総長に抜擢されたベリタ氏、彼は汚職、緑故主義人事による親族登用や目に余る杜撰な予算流用、女性関係等が新聞沙汰になって、これに憤慨して立ち上がった学生達の抗議で免職に追い込まれた。その結果、3年間の刑務所入りの刑を宣告され、10月1日は獄中で62歳の誕生日を迎えた。

この度は初めはささやかだった高校生の運動が起爆剤になって大デモまで巻き込んだ大デモ勢力に上つた。カルテス大統領も一日高校生の代表達を行政に呼んで引見し、対策を約束した。教育の大改革への萌芽だ。政治に汚染されない純

小説 炉辺談話

荒木桃里 (9)



ラームス移住地の娘さんたち

大貫の舌の先が、だいぶんあやしくなってきたよ。うだ。鹿さんは、自分たちもこれから同じ船に乗る。アリーのブームの酔いと、述懐談の余韻をかみしめながら、大貫がほおを上気させて満足そうにしゃべる横顔を見ては、いよいよ目を細めるのだった。

林田は何か猪瀬に耳打ちをしていた。猪瀬の目が眼鏡越しにきらり光った。職業柄、この連中は鹿を追う猟師に似ている。「見せてくれ」というのである。宴の乱れた会場を抜け出した一行は、小楠の農場に向つた。納屋の一隅には、売れ残った二百キロのアリーヨが茎をしばって吊るしてあつた。技師はその中の一束をとって首を落とし、尻ひげを切り、薄皮を剥いだ。「う……む」猪瀬は唸った。係長たちと顔を見合わせた。無言ではあるがどの目も「見事だ」という感嘆の眼差しであった。技師はポケットから拡大鏡を取り出し入念に調べていた。彼らはひそひそと何かを相談していたが、やがて結論を出した。「小楠君……これはいい。新品種だ、絶対この種子が他所へ散らばらないようにしてくれ、此処だけで殖やしてくれ、そのための肥料、農薬などの融資の便宜も計ってあげよう。そして一回の出荷量がカミニオン一台に達したとき、K産組に出してくれ、そのほうが運賃も安上がりのはずだ。……それまでは技師を派遣してできるだけ力になってやろう」。猪瀬はおもむろに宣言した。

SERRA-NEGRA SP Chalés Hotel Fazenda SERRA NEGRA SP

VALE DO SOL

50人から5000人収容できる各種コンベンションセンター www.valedosol.com.br

Reserve já: **02 Nov. FINADOS e 20 Nov. CONSCIÊNCIA NEGRA**

10 PISCINAS, 4 AQUECIDAS e COBERTAS, 1 HIDROMASSAGEM

VISTA PANORAMICA 4 Saunas, quadras de: Tênis, Tamboréu, Vólei, Basquete, Futebol Salão, Campo de Futebol Oficial, 2 Campos de Futebol Infantil, Brinquedoteca, Quadras de Basquete e Vólei Infantil, Lagos para Pesca, Cavalos, Cinema, Cidade das Crianças, Castelo Infantil, Salões de Estar, Carteador, Leitura, TV e Jogos, Arvorismo, Tirolesa, Paredão de Escalada e Cancha de Bocha.

Reservas: (11) 4063-1080 - (13) 4062-9400 - (19) 4062-9050 - (21) 4063-9500 - (31) 4063-9500

ニッケイ新聞を読む! 購読者拡大キャンペーン実施中

新規購読者 半年間の契約で1カ月分

新規購読者を紹介してくれた本紙購読者にも 1年間の契約で2カ月分

特典 3カ月分の購読料を無料延長

さらっ。ニッケイ歌壇も併載も あなたの投稿が日本や世界へ! インターネットサイト大好評 www.nikkeishimbun.jp

A VERDADE SOBRE A GUERRA DO PACÍFICO

太平洋戦争の真実をポルトガル語で

・ 真珠湾攻撃以前に為された対日軍事行動
・ 開戦前に承認されていた日本の市民への爆撃計画
・ 日本への経済封鎖という戦争行為
・ アメリカ自身すら認める東京裁判の不当性
・ 世界で初めて人種差別撤廃を求めた日本
・ 現代日本の悲劇を生んだ二大要素
・ 迫害された日本人移民 など

Koichi Mera Sadao Imamori Yasuo Inoue

A VERDADE SOBRE A GUERRA DO PACÍFICO

por que o Japão lutou contra o Estados Unidos

R\$50

ニッケイ新聞編集部・日系書店で販売中!

- 太陽堂 (11)-3208-6588
- 高野書店 (11)-3209-3313
- フォノマジ竹内書店 (11)-3104-3399

